

＜使用開始日＞
2018年4月26日

NEXT FUNDS ダウ・ジョーンズ 工業株30種平均株価連動型上場投信

(愛称)NYダウ30種ETF

追加型投信 海外 株式 ETF インデックス型

【投資信託説明書（交付目論見書）】

商品分類					属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産(収益の源泉)	独立区分	補足分類	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	為替ヘッジ	対象インデックス
追加型	海外	株式	ETF	インデックス型	株式 一般	年1回	北米	なし	その他 (ダウ・ジョーンズ工業株30種平均株価)

* 属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

上記、商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)をご覧ください。

＜委託会社＞ 野村アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図を行なう者]

■金融商品取引業者登録番号:関東財務局長(金商)第373号 ■設立年月日:昭和34年(1959年)12月1日

■資本金:171億円(平成30年3月末現在) ■運用する投資信託財産の合計純資産総額:34兆0884億円(平成30年2月28日現在)

＜受託会社＞ 野村信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

本書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。

この目論見書により行なうNEXT FUNDS ダウ・ジョーンズ工業株30種平均株価連動型上場投信の募集については、発行者である野村アセットマネジメント株式会社(委託会社)は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を平成29年10月31日に関東財務局長に提出しており、平成29年11月1日にその効力が生じております。

- ファンドに関する金融商品取引法第15条第3項に規定する目論見書(以下「請求目論見書」といいます。)は野村アセットマネジメント株式会社のホームページに掲載しています。なお、ファンドの投資信託約款の全文は請求目論見書に記載しています。
- ファンドの内容に関して重大な変更を行なう場合には、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)に基づき事前に受益者の意向を確認いたします。
- 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されています。
- 請求目論見書については販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。なお、販売会社に請求目論見書をご請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。
- ファンドの販売会社、ファンドの基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

照会先

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104
＜受付時間＞営業日の午前9時～午後5時



★ホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★ (基準価額等)

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>



ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本円換算したダウ・ジョーンズ工業株30種平均株価[※](対象株価指数)に連動する投資成果(基準価額の変動率が対象株価指数の変動率に一致することをいいます。)を目指します。

※Dow Jones Industrial AverageSM(以下「ダウ・ジョーンズ工業株30種平均株価」といいます。)は、米国の有名な大企業30銘柄で構成される株価指数です。対象となる銘柄は、米国に上場する、運輸株および公共株を除く全業種の株式です。指数の算出は、構成銘柄の株価の単純合計を除数で除算する方法によります。対象銘柄の変更や株式分割などがあった場合には、指数の連続性を維持するために除数を調整します。指数の連続性を保つために構成銘柄の見直しは稀であり、採用銘柄の企業の買収・合併があったときや、採用銘柄の企業の主要な事業に大きな変化があったときなどに見直しがあります。構成銘柄見直しの頻度やその時期はあらかじめ決まっておらず、必要に応じて見直しが行われます。構成銘柄の選定は、その企業がすぐれた名声を得ているか、持続的な成長を示しているか、多くの投資家に利益を与えているか、という観点からウォール・ストリート・ジャーナル紙の編集陣が選定しています。ダウ・ジョーンズ工業株30種平均株価は、1896年5月26日以降継続して算出されています。

ファンドの特色

■主要投資対象

対象株価指数[※]に採用されているまたは採用が決定された銘柄の株式を主要投資対象とします。なお、日本円換算した対象株価指数に連動する投資成果を目指すため、株価指数先物取引の買建ておよび外国為替予約取引の利用を行なうことができます。

※米ドル建てである対象株価指数の日本円換算は、原則として、対象株価指数の算出対象日の翌営業日の対顧客電信売買相場の仲値を用いて算出します。

■投資方針

- ①主として対象株価指数に採用されているまたは採用が決定された銘柄の株式に投資し、日本円換算した対象株価指数に連動する投資成果を目指します。
- ②追加設定時には、設定後の信託財産が上記①に沿うよう、信託財産を組成します。
- ③米ドルのエクスポージャーは、原則として信託財産の純資産総額と同程度となるように調整を行ないません。なお、米ドルのエクスポージャーの調整を目的として、外国為替予約取引等を適宜利用する場合があります。
- ④外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
- ⑤日本円換算した対象株価指数に連動する投資成果を目指すため、補完的に、株価指数先物取引の買建ておよび対象株価指数に連動することを目的として運用される投資信託証券の組入れを行なうことができます。
- ⑥一部解約の実行の請求に応じる場合には、信託財産に属する有価証券その他の資産のうち当該一部解約に係る受益権の当該信託財産に対する持分に相当するものについて換価を行ないません。ただし、当該一部解約の実行の請求に対し、追加信託に係る金銭の引渡しをもって応じることができる場合を除きます。
- ⑦上記のほか、次の場合には、信託財産の構成を調整するための運用指図を行なうことがあります。
 - イ. 対象株価指数の計算方法が変更された場合または当該変更が公表された場合
 - ロ. 対象株価指数における、その採用銘柄の変更、除数の修正または株式分割等による対象株価指数における個別銘柄の構成比率の修正が行なわれた場合または当該変更もしくは修正が公表された場合
 - ハ. イおよびロのほか、基準価額と日本円換算した対象株価指数の連動性を維持する等のために必要な場合

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

Dow Jones Industrial AverageSM (ダウ・ジョーンズ工業株30種平均株価) について

「Dow Jones Industrial AverageSM」はDow Jones Indexesの製作物であり、かつ、CME Group Index Services LLC(「CME」)に使用許諾された商標であり、その使用については許諾契約が締結されています。「Dow Jones[®]」、「Dow Jones Industrial AverageSM」および「Dow Jones Indexes」は、Dow Jones Trademark Holdings, LLC(「Dow Jones」)の商標であり、CMEに対して使用が許諾されており、野村アセットマネジメント株式会社による一定の目的のための使用が再許諾されています。当ファンドは、Dow JonesもしくはCMEまたはそれらの関連会社により支援、推奨、販売または販売促進されていません。Dow JonesおよびCMEならびにそれらの関連会社は、当ファンドの保有者もしくは公衆一般のいかなる者に対しても、明示的か黙示的かを問わず、当ファンドへの投資についてそれが望ましいかどうかについては、いかなる表明または保証も行いません。Dow JonesおよびCMEならびにそれらの関連会社と野村アセットマネジメント株式会社との間の関係は、Dow Jones およびDow Jones Industrial AverageSMの一定の商標および商号の使用を許諾することに限られ、Dow Jones Industrial AverageSMは、野村アセットマネジメント株式会社または当ファンドと関係なく、CMEにより決定され、構成され、かつ、算出されるものです。Dow JonesおよびCMEは、Dow Jones Industrial AverageSMの決定、構成または算出に関し、野村アセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。Dow JonesおよびCMEならびにそれらの関連会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負わず、また関与をしていません。Dow JonesおよびCMEならびにそれらの関連会社は、当ファンドの管理、販売または取引に関する義務または責任を負いません。ただし上記にかかわらず、CME Group Inc. およびその関連会社は、野村アセットマネジメント株式会社が現在発行している当ファンドとは関係していないが、当ファンドに類似し、または当ファンドと競合し得る金融商品を、独自に発行または支援する場合があります。さらに、CME Group Inc. およびその関連会社は、Dow Jones Industrial AverageSMに連動する金融商品を取引する場合があります。その取引の結果、Dow Jones Industrial AverageSMおよび当ファンドの価値が影響を受ける可能性があります。

Dow JonesおよびCMEならびにそれらの関連会社は、Dow Jones Industrial AverageSMまたはそれに含まれるデータの正確性・完全性を保証しておらず、またDow JonesおよびCMEならびにその関連会社は、Dow Jones Industrial AverageSMに係るいかなる誤差、脱漏または中断についても何ら責任を負いません。Dow JonesおよびCMEならびにその関連会社は、Dow Jones Industrial AverageSMまたはそれに含まれるデータの利用により、野村アセットマネジメント、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。Dow JonesおよびCMEならびにそれらの関連会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつDow Jones Industrial AverageSMまたはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、Dow JonesもしくはCMEまたはそれらの関連会社は、いかなる逸失利益または間接的、懲罰的、特別もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。CMEと野村アセットマネジメント株式会社と間の契約または取決めにより、CMEに対して使用許諾をする者以外の第三者で利益を得る者はおりません。

■主な投資制限

株式への投資割合	株式への投資割合には制限を設けません。
外貨建資産への投資割合	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
デリバティブの利用	デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。

■分配の方針

毎年8月10日に分配を行います。

分配金額は、信託財産から生ずる配当等収益から経費を控除後、全額分配することを原則とします。ただし、分配金がゼロとなる場合もあります。また、売買益が生じても、分配は行ないません。



* 将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行なっている有価証券等の値動きによる影響を受けませんが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。

したがって、ファンドにおいて、投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク	ファンドは株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。
為替変動リスク	ファンドは、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。

* 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

〈対象株価指数と基準価額の主な乖離要因〉

ファンドは、基準価額が日本円換算した対象株価指数と連動する投資成果を目指しますが、主として次のような要因があるため、同指数と一致した推移をすることを運用上お約束できるものではありません。

- ①対象株価指数採用銘柄(以下「採用銘柄」といいます。)の売買単位未満の金銭を保有することなどによる影響、および資金の流出入のタイミングと当該資金の流出入に伴い実際に採用銘柄等を売買するタイミングのずれの影響により、採用銘柄の組入比率および米ドルの為替エクスポージャーが必ずしも100%とならないこと。
- ②対象株価指数の構成銘柄異動や個別銘柄の株式分割などによりポートフォリオの調整が行なわれる場合、個別銘柄の売買などにあたりマーケット・インパクトを受けること、また、売買手数料などの取引費用を負担すること。
- ③対象銘柄の売買価格と評価価格に価格差が生じる場合があること。(為替レートの価格差を含みます。)
- ④先物取引を利用した場合、先物価格と対象株価指数との間に乖離が生じること。
- ⑤信託報酬等のコスト負担があること。

* 対象株価指数と基準価額の乖離要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- ◆ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- ファンドが組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。
- 有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。
- ファンドの基準価額と対象株価指数は、費用等の要因により、完全に一致するものではありません。また、ファンドの投資成果が対象株価指数との連動または上回ることを保証するものではありません。
- ファンドの市場価格は、取引所における競争売買を通じ、需給を反映して決まります。したがって、市場価格は基準価額とは必ずしも一致するものではありません。
- 受益者は、自己に帰属する受益権をもって当該受益権の信託財産に対する持分に相当する有価証券との交換をすることはできません。

リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの考査および運用リスクの管理をリスク管理関連の委員会を設けて行なっております。

●パフォーマンスの考査

投資信託の信託財産についてパフォーマンスに基づいた定期的な考査(分析、評価)の結果の報告、審議を行ないます。

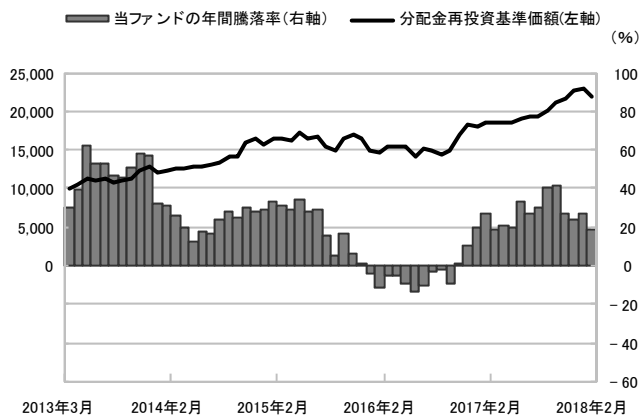
●運用リスクの管理

投資信託の信託財産の運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用部門その他関連部署への是正勧告を行なうことにより、適切な管理を行ないます。

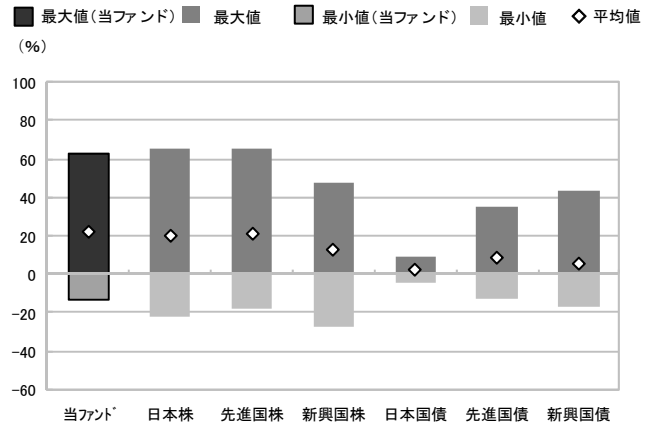
リスクの定量的比較

(2013年3月末～2018年2月末:月次)

〈ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移〉



〈ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較〉



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値(%)	62.7	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値(%)	△ 13.6	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値(%)	22.5	20.2	20.6	12.8	2.3	8.4	6.0

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2013年3月末を10,000として指数化しております。
- * 年間騰落率は、2013年3月から2018年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2013年3月から2018年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

〈代表的な資産クラスの指数〉

- 日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
- 先進国株:MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)
- 新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債:NOMURA-BPI国債
- 先進国債:FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
- 新興国債:JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

■代表的な資産クラスの指数の著作権等について■

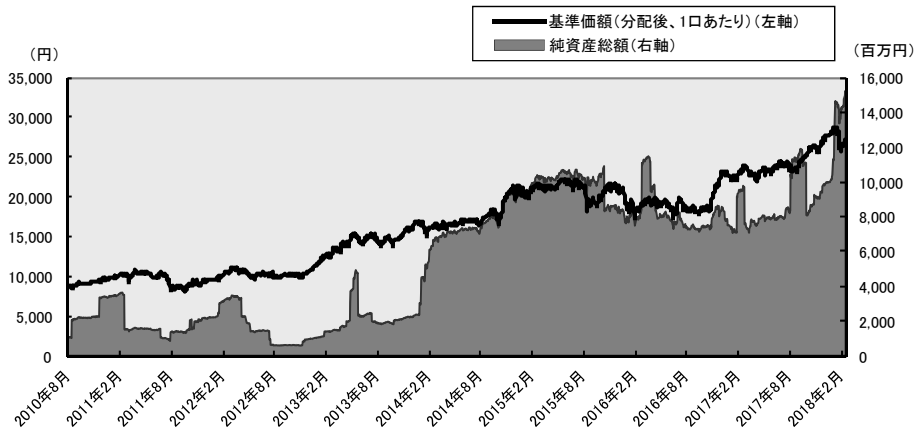
- 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株東京証券取引所)が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)・・・MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPI国債・・・NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。
- FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)・・・「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)」(ここでは「指数」とよびます)についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社(以下、JPM)がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。米国のJ.P. Morgan Securities LLC(ここでは「JPMSLLC」と呼びます)(「指数スポンサー」)は、指数に関する証券、金融商品または取引(ここでは「プロダクト」と呼びます)についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。JPMSLLCはNASDAQ、NYSE、SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPPI, J.P. Morgan Securities PLC.、またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所:株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)

運用実績 (2018年2月28日現在)

基準価額・純資産の推移

(日次:設定来)



分配の推移

(1口あたり、課税前)

2017年8月	443 円
2016年8月	386 円
2015年8月	341 円
2014年8月	160 円
2013年8月	245 円
設定来累計	2,561 円

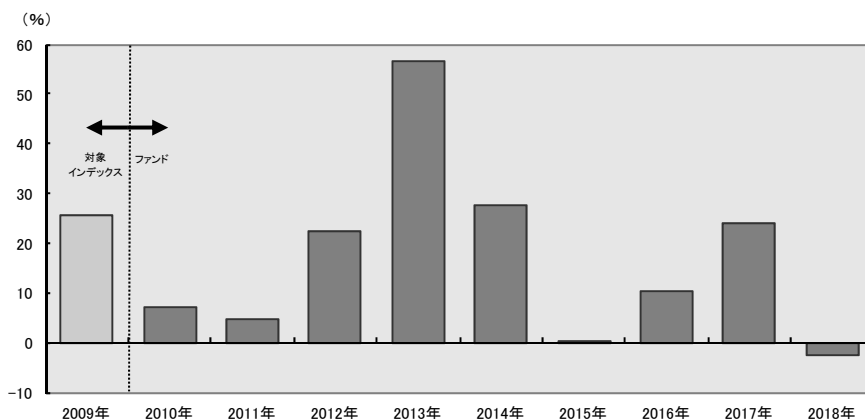
主要な資産の状況

銘柄別投資比率(上位)

順位	銘柄	業種	投資比率 (%)
1	BOEING CO	航空宇宙・防衛	9.6
2	GOLDMAN SACHS GROUP	資本市場	7.1
3	3M CORP	コングロマリット	6.4
4	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア・プロバイダー/ ヘルスケア・サービス	6.1
5	HOME DEPOT	専門小売り	4.9
6	APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	4.7
7	CATERPILLAR INC DEL	機械	4.3
8	MCDONALD'S CORP	ホテル・レストラン・レジャー	4.2
9	INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES	情報技術サービス	4.1
10	TRAVELERS COS INC/THE	保険	3.7

年間収益率の推移

(暦年ベース)



- ・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
- ・2009年は対象インデックスの年間収益率。
- ・2010年は設定日(2010年8月13日)から年末までのファンドの収益率。
- ・2018年は年初から運用実績作成基準日までのファンドの収益率。

●ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。●対象インデックスの情報はあくまで参考情報であり、ファンドの運用実績ではありません。●ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。

手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	1万口以上1万口単位
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額に、100.15%の率を乗じて得た価額 (ファンドの基準価額は1口あたりで表示しております。)
購入代金	原則、販売会社の指定する日までに、お申込みの販売会社にお支払いください。
当初元本	1口当り、8868円
換金単位	1万口以上1万口単位
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
換金代金	原則、換金申込日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社でお支払いします。
申込締切時間	午後3時までに、申込みが行なわれたものを当日の受付分とします。
購入の申込期間	平成29年11月1日から平成30年10月31日まで * 申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。
申込受付不可日	<p>次の期日または期間における、購入、換金の各申込みについては、原則として受付を停止します。ただし、信託財産の状況、資金動向、市況動向等を鑑み、信託財産に及ぼす影響が軽微である等と判断される場合は、購入、換金の各申込みの受け付けを行なうことができます。</p> <p><購入></p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込日当日または翌営業日が、別に定める海外の休日*と同日付となる場合の当該申込日 ・連続する「日本の営業日でない日」の期間中に「別に定める海外の休日*でない日」が2日以上ある場合において、申込日当日が当該期間の前々営業日または前営業日となる場合の当該申込日 ・申込日当日が、ファンドの決算日の5営業日前から起算して4営業日以内(ただし、ファンドの決算日が休日(営業日でない日)をいいます。)の場合は、ファンドの決算日の6営業日前から起算して5営業日以内) ・上記のほか、委託会社が、投資方針に沿った運用に支障をきたすおそれのあるやむを得ない事情が生じたものと認めるとき <p><換金></p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込日当日が、別に定める海外の休日*と同日付となる場合の当該申込日 ・連続する「日本の営業日でない日」の期間中に「別に定める海外の休日*でない日」が2日以上ある場合において、申込日当日が当該期間の前営業日となる場合の当該申込日 ・申込日当日が、ファンドの決算日の5営業日前から起算して4営業日以内(ただし、ファンドの決算日が休日(営業日でない日)をいいます。)の場合は、ファンドの決算日の6営業日前から起算して5営業日以内) ・換金の申込日当日が、ファンドの決算日から起算して最大40日以内 ・上記のほか、委託会社が、投資方針に沿った運用に支障をきたすおそれのあるやむを得ない事情が生じたものと認めるとき <p>※ニューヨーク証券取引所の休場日もしくはナスダック証券取引所の休場日</p>

購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止(個別銘柄の売買停止等を含みます。)等、その他やむを得ない事情がある場合、購入、換金申込みの受付けを停止することおよびすでに受付けた購入、換金申込みの受付けを取り消すことができます。また、購入申込日において、当日申込み分の購入申込金額と換金申込金額の差額分が当日の純資産総額を超えることとなる場合、購入申込みの受付けを停止することおよびすでに受付けた購入申込みの受付けを取り消すことができます。
信託期間	無期限(平成22年8月13日設定)
上場市場	東京証券取引所
繰上償還	上場した全ての金融商品取引所において上場廃止になった場合または対象株価指数が廃止された場合、受益権口数が20営業日連続して6万口を下回った場合等は、償還となります。上場した全ての金融商品取引所において上場が廃止された場合には、その廃止された日に償還のための手続きを開始します。また、受益者のため有利であると認める場合には償還となる場合があります。
決算日	毎年8月10日
収益分配	年1回の決算時に分配を行いません。
信託金の限度額	5000億円
公 告	原則、 http://www.nomura-am.co.jp/ に電子公告を掲載します。
運用報告書	運用報告書は作成いたしません。

ファンドの費用・税金

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が独自に定める額。(詳しくは販売会社にお問い合わせください。) 購入時手数料は、ファンドの購入に関する事務手続き等の対価として、購入時に頂戴するものです。
その他の費用	購入価額は、基準価額に100.15%の率を乗じた価額となります。したがって、購入時には、基準価額に 0.15% の率を乗じて得た額を1口あたりに換算して、購入する口数に応じてご負担いただきます。
信託財産留保額	換金時に、基準価額に 0.15% の率を乗じて得た額を1口あたりに換算して、換金する口数に応じてご負担いただきます。
換金時手数料	販売会社が独自に定める額。(詳しくは販売会社にお問い合わせください。) 換金時手数料は、ファンドの換金に関する事務手続き等の対価として、換金時に頂戴するものです。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	信託報酬の総額は、①により計算した額に②により計算した額を加えた額とします。								
	<p>①日々のファンドの純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額。 信託報酬率の配分は下記の通りとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">信託報酬率</th> <th>年0.486%(税抜年0.45%)以内 (平成30年4月25日現在 年0.486%(税抜年0.45%))</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">支払先の 配分 (税抜) および 役務の内容</td> <td><委託会社> ファンドの運用とそれに伴う調査、 受託会社への指図、 法定書面等の作成、 基準価額の算出等</td> <td>年0.40%</td> </tr> <tr> <td><受託会社> ファンドの財産の保管・管理、 委託会社からの指図の実行等</td> <td>年0.05%</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 上記配分は、平成30年4月25日現在の信託報酬率における配分です。</p> <p>②信託財産に属する有価証券の貸付を行なった場合は、日々、その品貸料の43.2%(税抜40%)以内の額。 その配分については委託会社80%、受託会社20%とします。</p> <p>ファンドの信託報酬は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき ファンドから支払われます。</p>		信託報酬率		年0.486%(税抜年0.45%)以内 (平成30年4月25日現在 年 0.486% (税抜年 0.45%))	支払先の 配分 (税抜) および 役務の内容	<委託会社> ファンドの運用とそれに伴う調査、 受託会社への指図、 法定書面等の作成、 基準価額の算出等	年0.40%	<受託会社> ファンドの財産の保管・管理、 委託会社からの指図の実行等
信託報酬率		年0.486%(税抜年0.45%)以内 (平成30年4月25日現在 年 0.486% (税抜年 0.45%))							
支払先の 配分 (税抜) および 役務の内容	<委託会社> ファンドの運用とそれに伴う調査、 受託会社への指図、 法定書面等の作成、 基準価額の算出等	年0.40%							
	<受託会社> ファンドの財産の保管・管理、 委託会社からの指図の実行等	年0.05%							
その他の費用・ 手数料	<p>◆対象株価指数に係る商標使用料(平成30年4月25日現在) ファンドの純資産総額に対し、年率0.06%以下とします。 ただし、1年当たり最低6万米ドル相当額を最低金額とする。(1年当たり年率ベースの金額が最低金額を下回る場合は、当該期間の商標使用料等は、当該最低金額とする。)</p> <p>◆ファンドの上場に係る費用(平成30年4月25日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加上場料:追加上場時の増加額(毎年末の純資産総額について、新規上場時及び新規上場した年から前年までの各年末の純資産総額のうち最大のものからの増加額)に対して、0.0081%(税抜0.0075%)。 ・年間上場料:毎年末の純資産総額に対して、最大0.0081%(税抜0.0075%)。 <p>また、その他の費用・手数料として、以下の費用等がファンドから支払われます。これらの費用等は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・外貨建資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ファンドに関する租税 等 								

■税金

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	配当所得として課税 収益分配金に対して20.315%
売却時、換金(解約)時 及び償還時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	譲渡所得として課税 売却時、換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して 20.315%

- * 上記は平成30年2月末現在のもので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- * 少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合
少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」は、上場株式、公募株式投資信託等に係る非課税制度です。NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入したETFなどから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。なお、分配金の受取方法によっては非課税とならない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- * 法人の場合は上記とは異なります。
- * 税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。